

## 消化器がん低侵襲治療センター

### <消化器がん低侵襲治療センターについて>

2017年7月から消化器がん低侵襲治療センターが開設されました。従来の内科・外科といった枠組みにとらわれることなく、消化器がんに対し可能な限り低侵襲かつ最高レベルの治療を受けていただけるように、消化器内科医、消化器外科医の各専門医が協力していくことが開設の目的です。

### <低侵襲治療とは>

“ていしんしゅう”治療とは、患者さんの体にかかる負担を最小限に抑える治療のことです。内科医が内視鏡技術を駆使して行う「体に傷をつくらない治療」と、われわれ外科医が技術を駆使する「体の傷を小さくする手術」を意味しています。

### <消化器外科の役割>

早期のがんに対しては、まず内視鏡治療ができないか考慮しますが、たとえ早期であっても内視鏡治療ができない場合があります。そのような時に外科手術が必要となりますが、患者さんの体にかかる負担を最小限に抑えるというセンターの理念を全うすべく、「体の傷を小さくする手術」である腹腔鏡手術を行っております。また、早期ではないがんに対しては最初から外科手術を考慮しなければなりません。より多くの患者さんに受けていただけるよう技術向上に努めてまいりましたので、早期ではなくとも腹腔鏡手術を行うことが多いです。

消化器内科・消化器外科いずれもセンターの窓口となっておりますので、消化器がんが心配な方、消化器がんと診断された方は受診してください。



# 病気の話

## 胃がん

### ・胃がんの原因

とかく喫煙は悪者扱いされますが、残念ながら胃がんの発生についても例外ではありません。喫煙者は非喫煙者の2倍ほど胃がんになりやすいことが指摘されています。いろいろ行われた研究で、関連性が特に強いと思われるのが塩分の過剰摂取とピロリ菌の感染です。

### ・胃がんの症状

胃がんの症状は何かと問われれば、その答えは無症状です。たまたま、胃炎など別の症状がきっかけで発見されることもあります。たいていは気づかないうちに大きくなっていきます。痛みや不快感が現われるのは、がんの症状ではなく、進行したがんのせいで胃が正常に働けなくなるからです。



### ・胃がんの予防

現時点では完全に予防することは無理ですが、塩分の取り過ぎに注意して野菜や果物が不足しないように心掛けるなど食生活への配慮、ピロリ菌の除菌、(喫煙者では)禁煙などが推奨されます。日本人の胃がんの98%がピロリ菌感染によるものであるとの指摘もありますので、気になる方、心配な方はどうぞ当センターを受診してください。

### ・胃がんの治癒率

進行の程度によって異なりますが、早期がんなら90%以上の確率で治せます。



**早期発見のためにも、症状のないうちに当センターを受診してください。  
そして発見されたなら、当センターでの低侵襲治療で早く元気になりましょう。**